

SDGsで魅力的な企業に



市がSDGs推進等に関する包括連携協定を締結している三井住友海上火災保険(株)の協力のもと、市内の商工団体を対象にリモートによるセミナーが行われ、自社のビジネスを通して社会の課題解決に取り組むこと、SDGsを意識する消費者に対しアピールしていくことの大切さなどを学びました。市商工会の水溜政典会長(水溜食品(株))は「可能なことから一つでも取り入れて、皆と一緒にSDGsを推進していきたい」と話しました。

コロナ禍でも出来ることを



11月28日、ボランティアグループ「team M-lab」・(公社)南さつま青年会議所・加世田ロータリークラブが新川海岸の清掃を行い、参加した会員など28名が約1時間かけてトラック1台分の漂着ゴミなどを拾い集めました。加世田ロータリークラブの村田敏史^{としふみ}会長は「新型コロナウイルスの感染が落ち着いているこのタイミングで、皆で連携して清掃活動ができた。訪れた人に気持ちよく過ごして欲しい」と話しました。

美しい風景を守る植樹活動



12月4日、県森林ボランティア連絡会主催の森林整備活動が県立吹上浜海浜公園で行われました。県内の森林ボランティア団体などから関係者138人が参加し、マツ枯れの原因となる松くい虫に強い抵抗性クロマツ1,000本を約1時間かけて植樹しました。

市内からの参加者は「未来の子どもたちに森林を残せるお手伝いができて嬉しい。このような活動がこれからも続いてほしい」と話しました。

安心安全な新鮮野菜をお届け



11月21日、自然農法体験学校『ありのまま分校』が、自然の恵み収穫祭を開催しました。会場では野菜の販売会が行われ、同分校の畑で採れた農薬・動物性堆肥未使用の新鮮な野菜が並び、大盛況となりました。

また、常潤高校の自然農法圃場で作ったサツマイモの焼き芋無料配布や、野菜の収穫体験、ヤギとのふれあい体験などもあり、会場は大勢の来場者で賑わいました。